

FUKUOKA 2007

データで見る福岡市

～人口と面積～



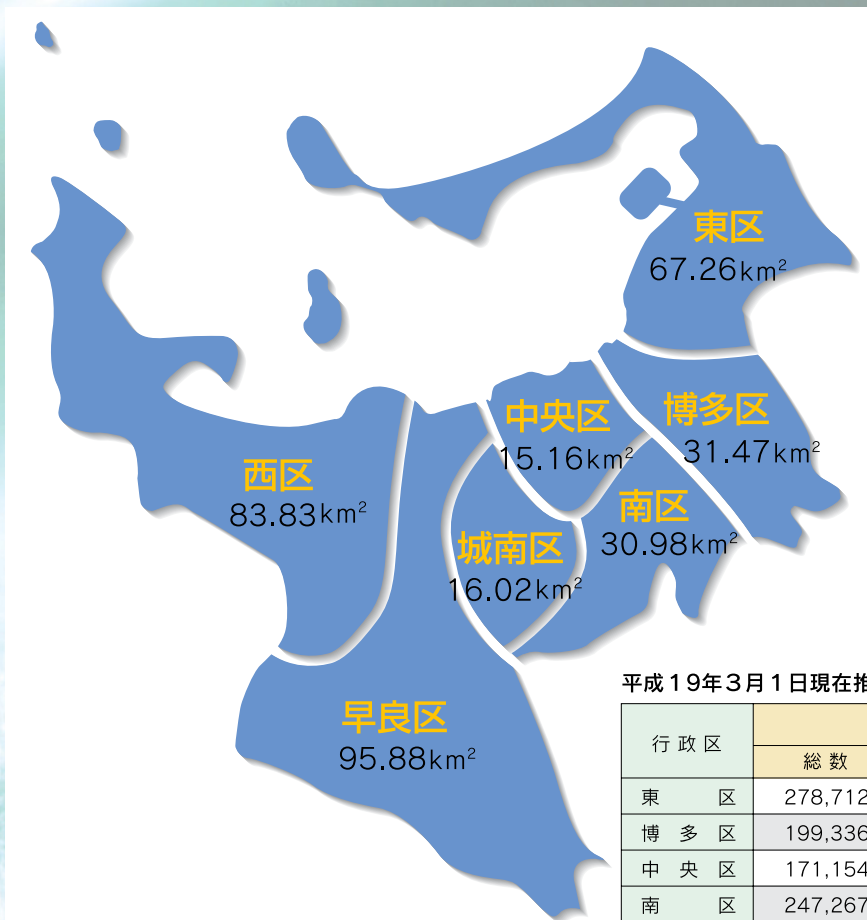
財団法人
福岡アジア都市研究所

福岡市 誕生まで

時代	年号	西暦	事項
弥生時代		57	奴の国王が後漢に朝貢して光武帝から「漢委奴国王」の金印を受ける。
飛鳥時代	舒明 2	630	遣唐使始まり、那の津に泊まる。
	持統 2	688	新羅の使者を筑紫館（後の鴻臚館）でもてなしたと続日本紀に記される。
鎌倉時代	建久 6	1195	栄西が最古の禅寺である聖福寺を開き、寺内と背振山に茶種をまく。
	文永 11	1274	蒙古来襲、博多の町を焼きはらう。
	弘安 4	1281	蒙古来襲、再び博多を攻める。
戦国時代	永禄 12	1569	毛利、大友の両軍が博多で戦い、市街地の大半が焼失する。
安土桃山時代	天正 15	1587	太閤町割り。豊臣秀吉が町割りを定め博多を再興する。
江戸時代	慶長 5	1600	黒田長政が豊前中津より筑前に入国、領主となり翌年から福岡城を築く。
明治時代	明治 4	1871	廃藩置県により福岡藩は福岡県となり、有栖川宮が県知事となる。
	明治 5	1872	福岡を1区、博多を2区と定め、戸長、副戸長を置く。
	明治 22	1889	福岡市市制施行。人口5万847人

*資料『福岡の歴史』（福岡市 1979年）

現在の福岡市の人口と面積



平成19年3月1日現在推計人口

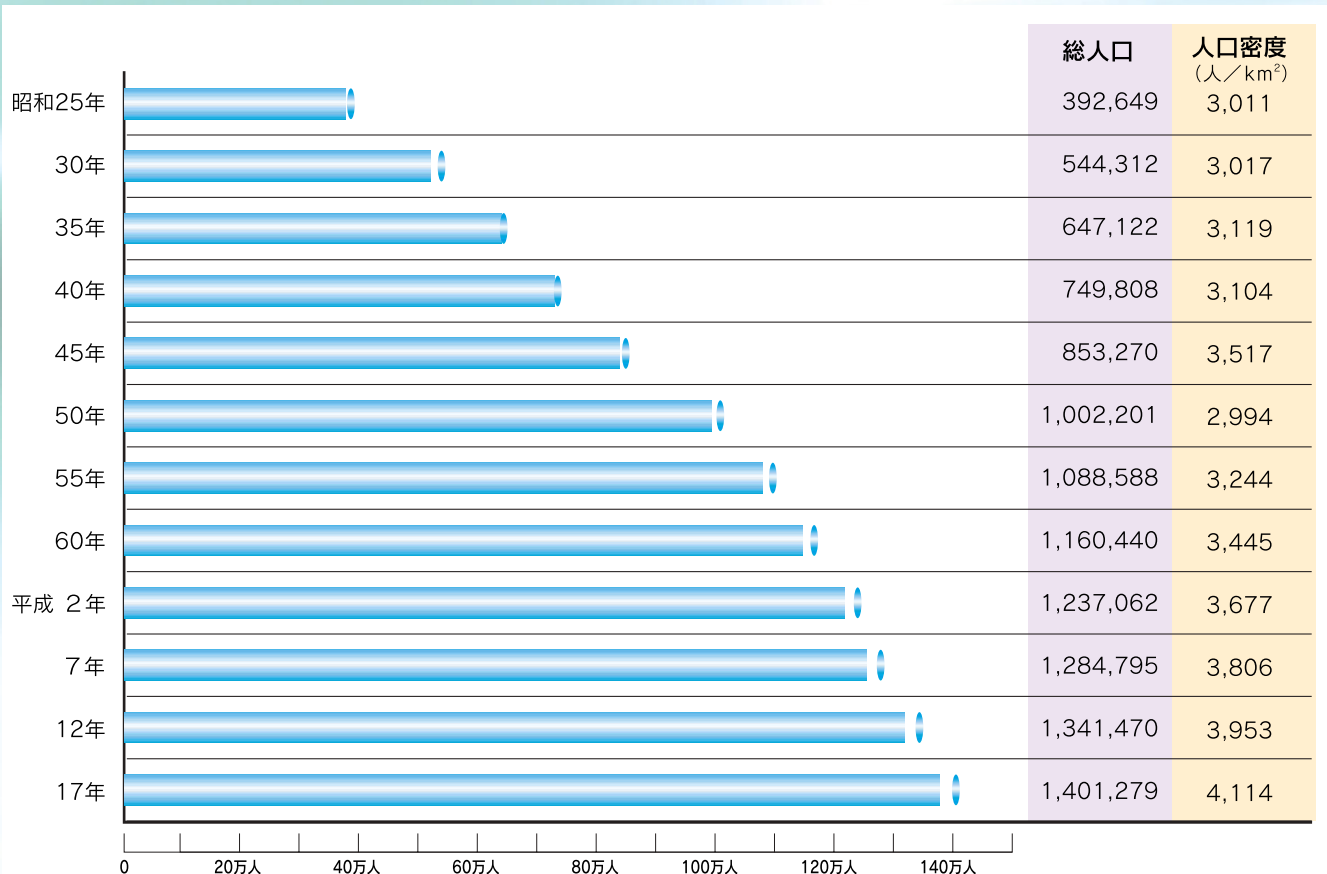
行政区	人 口				面積 (km ²)
	総数	(構成比)	男	女	
東 区	278,712	19.6%	138,826	139,886	67.26
博 多 区	199,336	14.1%	98,524	100,812	31.47
中 央 区	171,154	12.1%	76,530	94,624	15.16
南 区	247,267	17.4%	116,524	130,743	30.98
城 南 区	128,789	9.1%	62,958	65,831	16.02
早 良 区	210,909	14.9%	100,293	110,616	95.88
西 区	182,389	12.9%	87,289	95,100	83.83
計 福岡市	1,418,556	100%	680,944	737,612	340.60

*資料：福岡市総務企画局企画調整部統計調査課

注1) 推計人口は平成17年国勢調査人口(確定値)を基礎として毎月の住民基本台帳及び外国人登録の異動状況等から算出した人口。

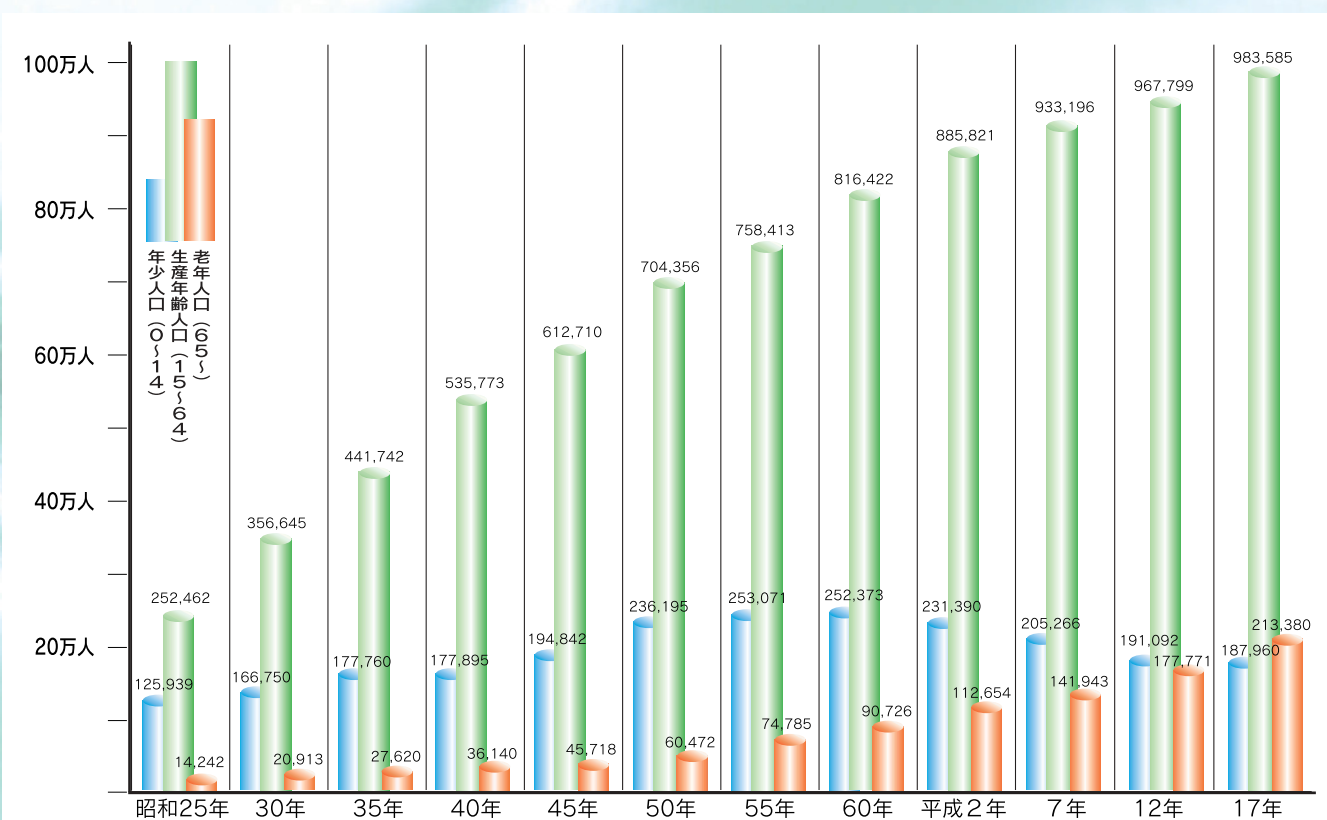
注2) 面積は、国土地理院の平成18年10月1日現在「全国都道府県市区町村別面積調」による。

人口・人口密度の推移



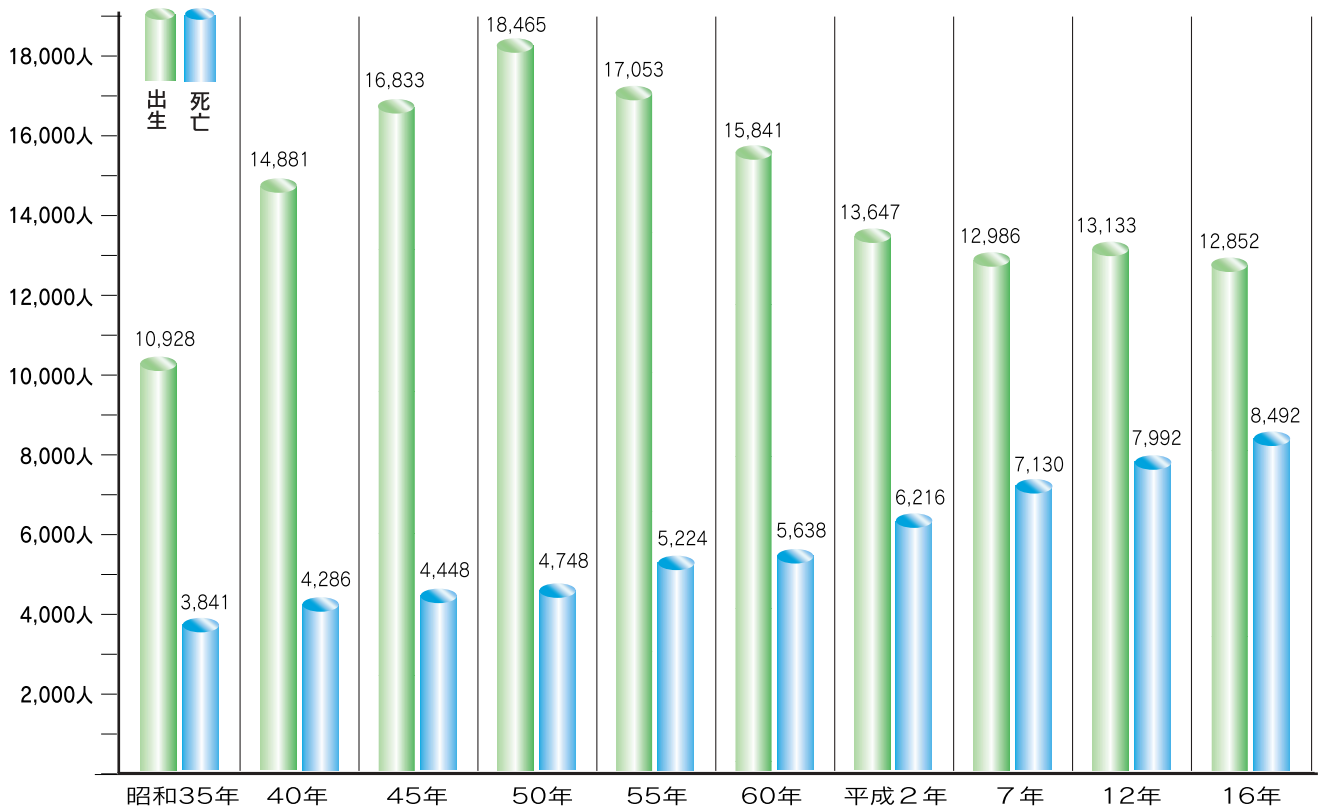
* 資料：総務省統計局（国勢調査）、福岡市総務企画局企画調整部統計調査課
 注1) 人口密度のもととなる面積は、平成17年10月1日現在の国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による。

年齢3区分別人口の推移



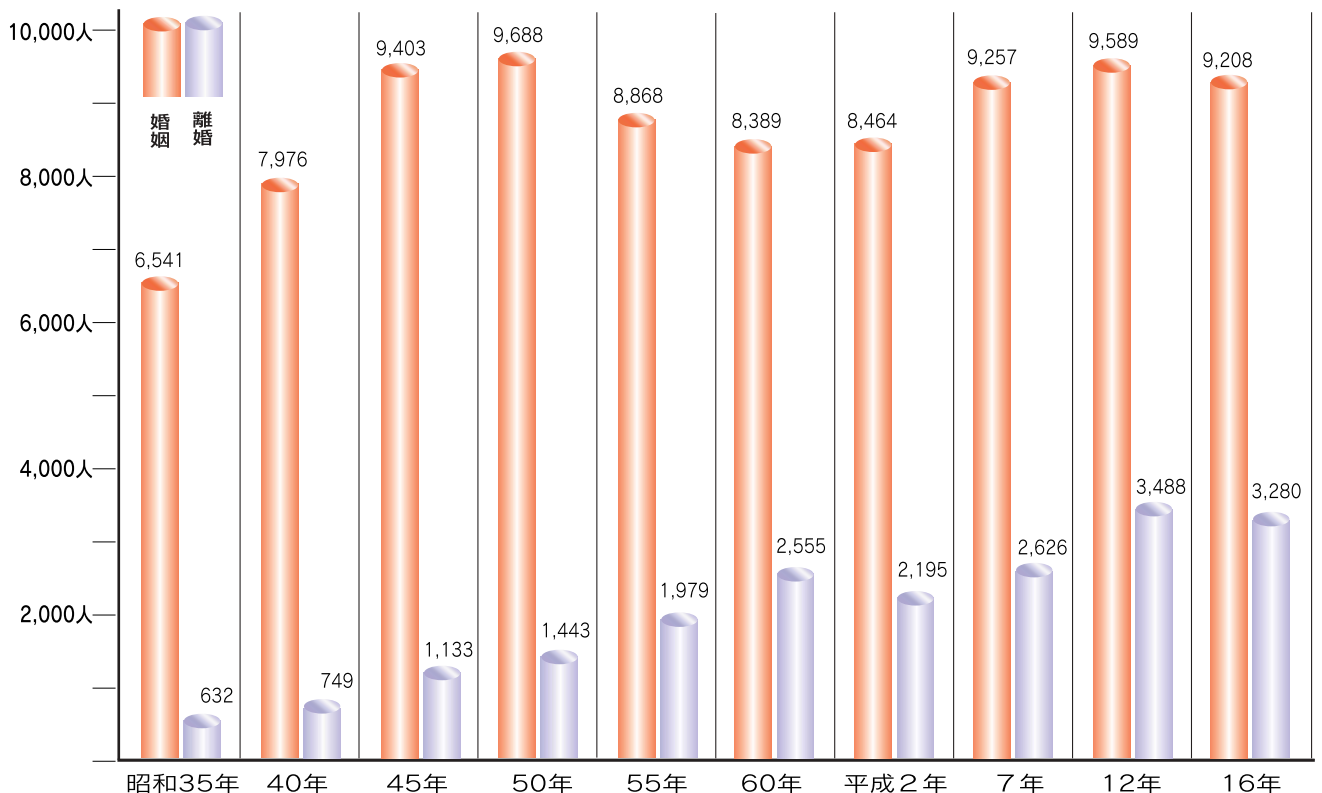
* 資料：総務省統計局、福岡市総務企画局企画調整部統計調査課 注) 年齢不詳者の数を省く。

出生・死亡数の推移



* 資料: 福岡市保健福祉局保健医療部地域医療課
この表は人口動態調査(指定統計第5号)によるもので住所主義である。本表の数字は日本人のみの数値。

婚姻・離婚数の推移

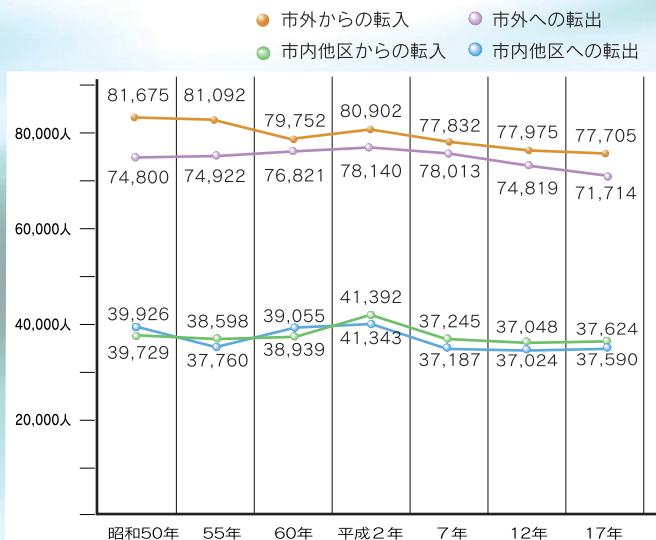


* 資料: 福岡市保健福祉局保健医療部地域医療課
この表は人口動態調査(指定統計第5号)によるもので住所主義である。本表の数字は日本人のみの数値。

転入・転出数の推移

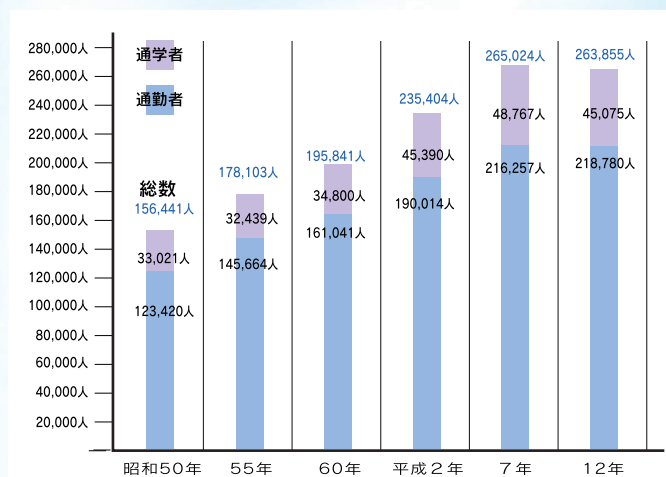
	増減数	市外からの転入	市内他区からの転入	市外への転出	市内他区への転出
昭和50年	6,678	81,675	39,729	74,800	39,926
55年	7,008	81,092	38,598	74,922	37,760
60年	2,815	79,752	38,939	76,821	39,055
平成 2年	2,811	80,902	41,392	78,140	41,343
7年	△123	77,832	37,245	78,013	37,187
12年	3,180	77,975	37,048	74,819	37,024
17年	6,025	77,705	37,624	71,714	37,590

* 資料: 福岡市市民局総務部政課
この表は住民基本台帳及び外国人登録の異動状況である。

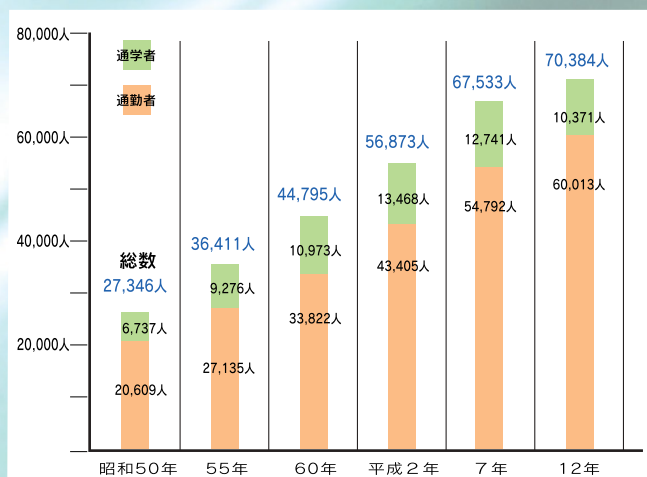


昼間人口(他市町村との流入、流出人口)の推移

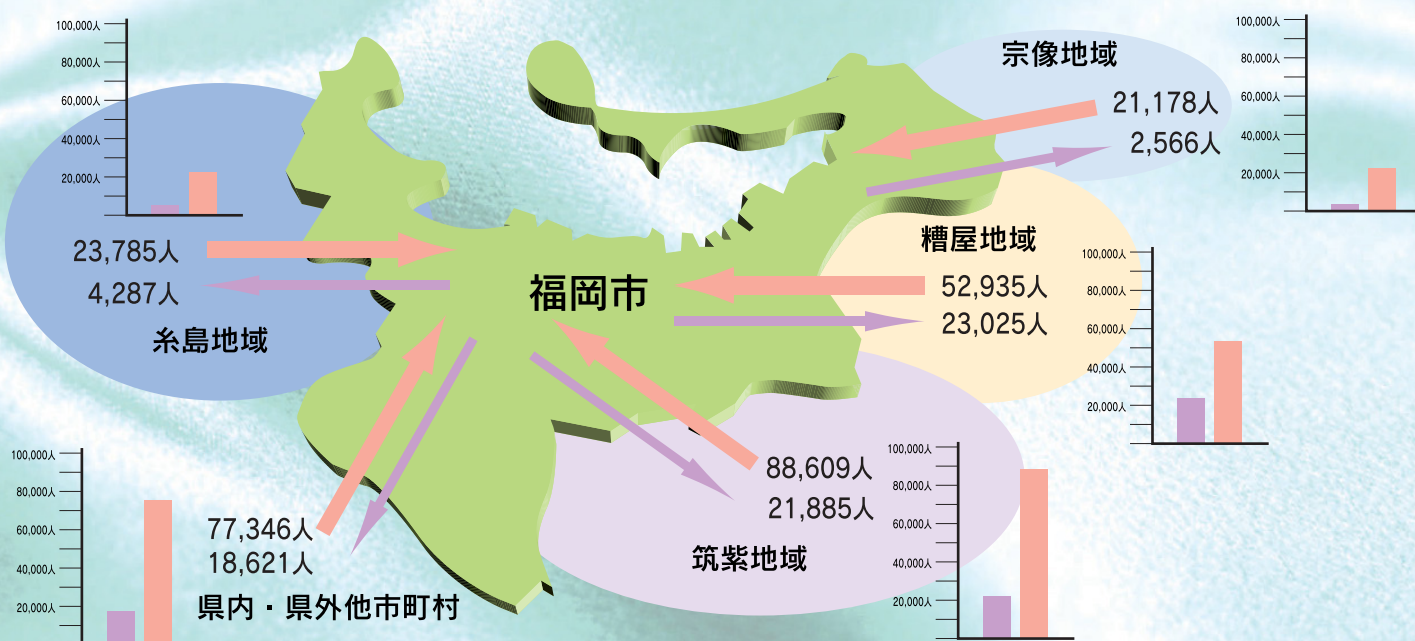
■他市町村からの流入人口(15歳以上 通勤者・通学者)



■他市町村への流出人口(15歳以上 通勤者・通学者)



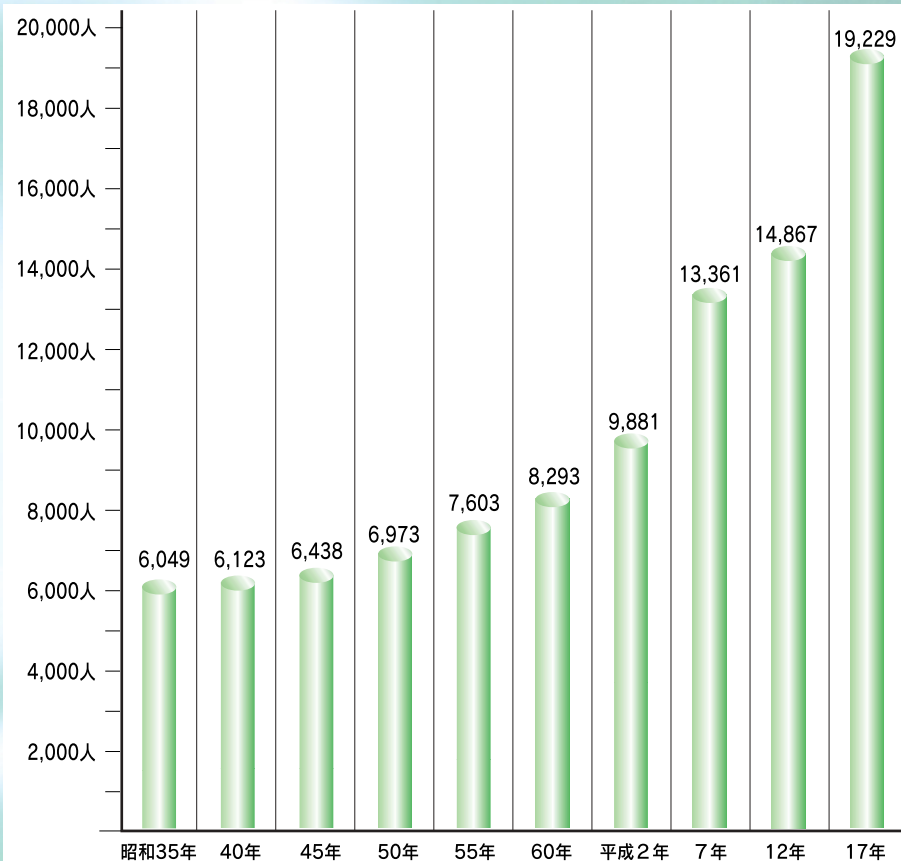
■福岡市と他市町村との流入・流出人口(15歳以上 通勤者・通学者)



* 資料: 総務省統計局(平成12年国勢調査)

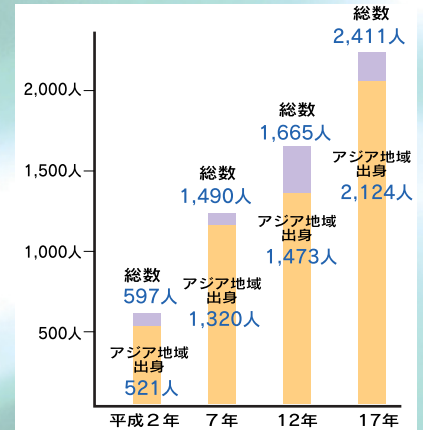
外国人登録者の推移

■外国人登録者数の推移



* 資料：市民局総務部政課
 ※昭和35年～平成7年は12月末における人口。
 ※平成12年、平成17年は9月末における人口。

■留学生数の推移（各年5月1日現在）



* 資料：福岡地域留学生交流推進協議会
 ※本表の「留学生」は、福岡地域留学生交流推進協議会に加盟する大学・短期大学・高等専門学校に在籍する者。
 ※アジア地域は中近東を除いて集計。

■出身国・地域別留学生数

(平成17年5月1日) (単位：人、%)

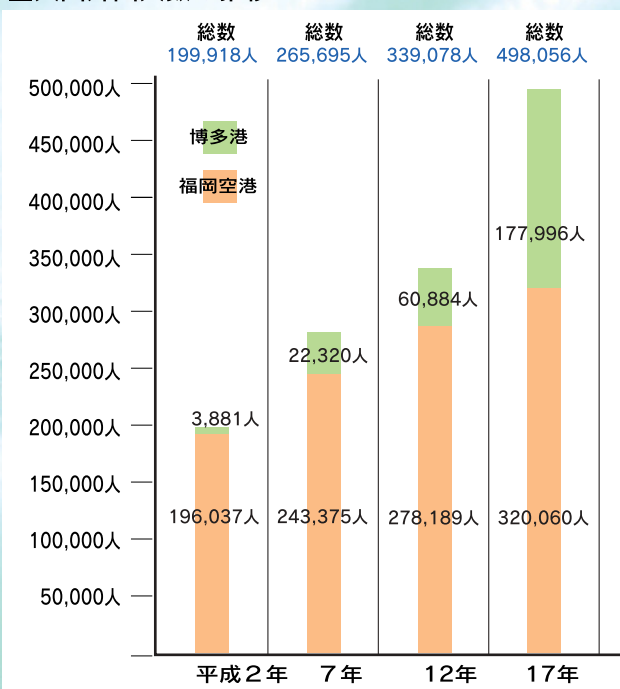
	留学生数	割合
中国	1,520	63.0
韓国	287	11.9
台湾	65	2.7
インドネシア	45	1.9
ベトナム	36	1.5
バングラデシュ	32	1.3
タイ	28	1.2
アメリカ合衆国	23	1.0
マレーシア	22	0.9
その他	353	14.6
合計(73カ国・地域)	2,411	100.0

アジア地域 (中近東は含まない) 2,124 88.1%

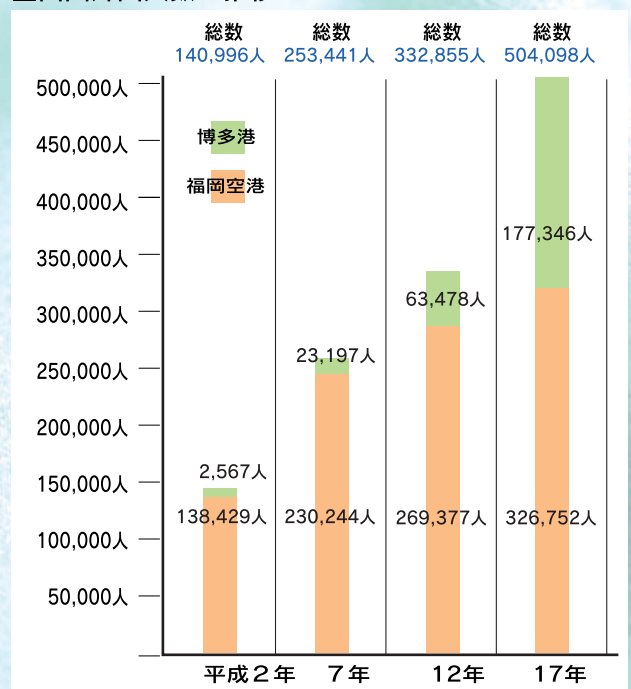
※資料：福岡地域留学生交流推進協議会

福岡空港・博多港を利用した外国人入国・出国者数の推移

■入国外国人数の推移



■出国外国人数の推移



* 資料：出入国管理統計年報

国籍別外国人人数の推移

■国籍別外国人登録者数の推移（上位10ヶ国）

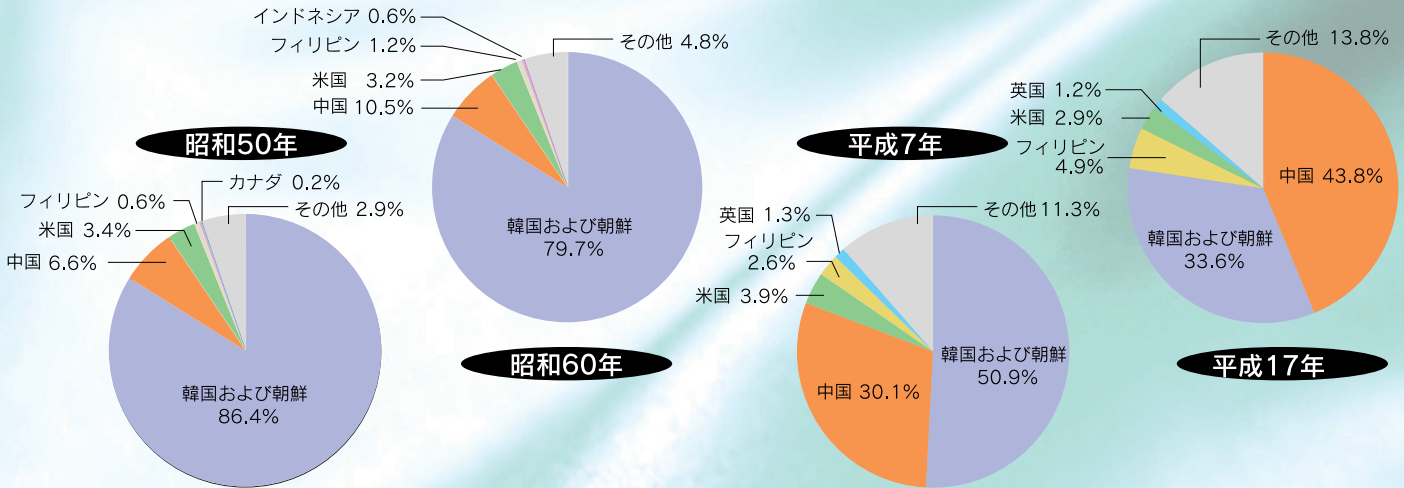
順位	昭和50年 1975		昭和60年 1985		平成7年 1995		平成17年 2005	
	総数		総数		総数		総数	
		6,973		8,293		13,361		19,229
1	韓国および朝鮮	6,023	韓国および朝鮮	6,608	韓国および朝鮮	6,805	中国	8,423
2	中国	459	中国	871	中国	4,022	韓国および朝鮮	6,456
3	米国	234	米国	262	米国	521	フィリピン	933
4	フィリピン	40	フィリピン	103	フィリピン	351	米国	562
5	カナダ	16	インドネシア	52	英国	170	英国	226
6	ドイツ	15	英国／	37	ブラジル	114	インドネシア	196
7	タイ／	12	マレーシア		カナダ	108	インド	170
8	ブラジル		インドネシア／	24	インドネシア	96	オーストラリア	155
9	インドネシア／	9	カナダ／スリランカ	20	オーストラリア	94	カナダ	151
10	オーストラリア		／タイ		タイ	71	ネパール	146

* 資料:福岡市市民局総務部政課

* 福岡市市民局総務部政課資料「国籍別外国人人数」より作成

(1) 人口数は昭和50年から平成7年までは各年12月末現在、平成12年と平成17年は9月末現在。

(2) 国名は法務省外国人登録事務取り扱い要領による。



■国籍別外国人人数区別一覧（平成19年2月現在）

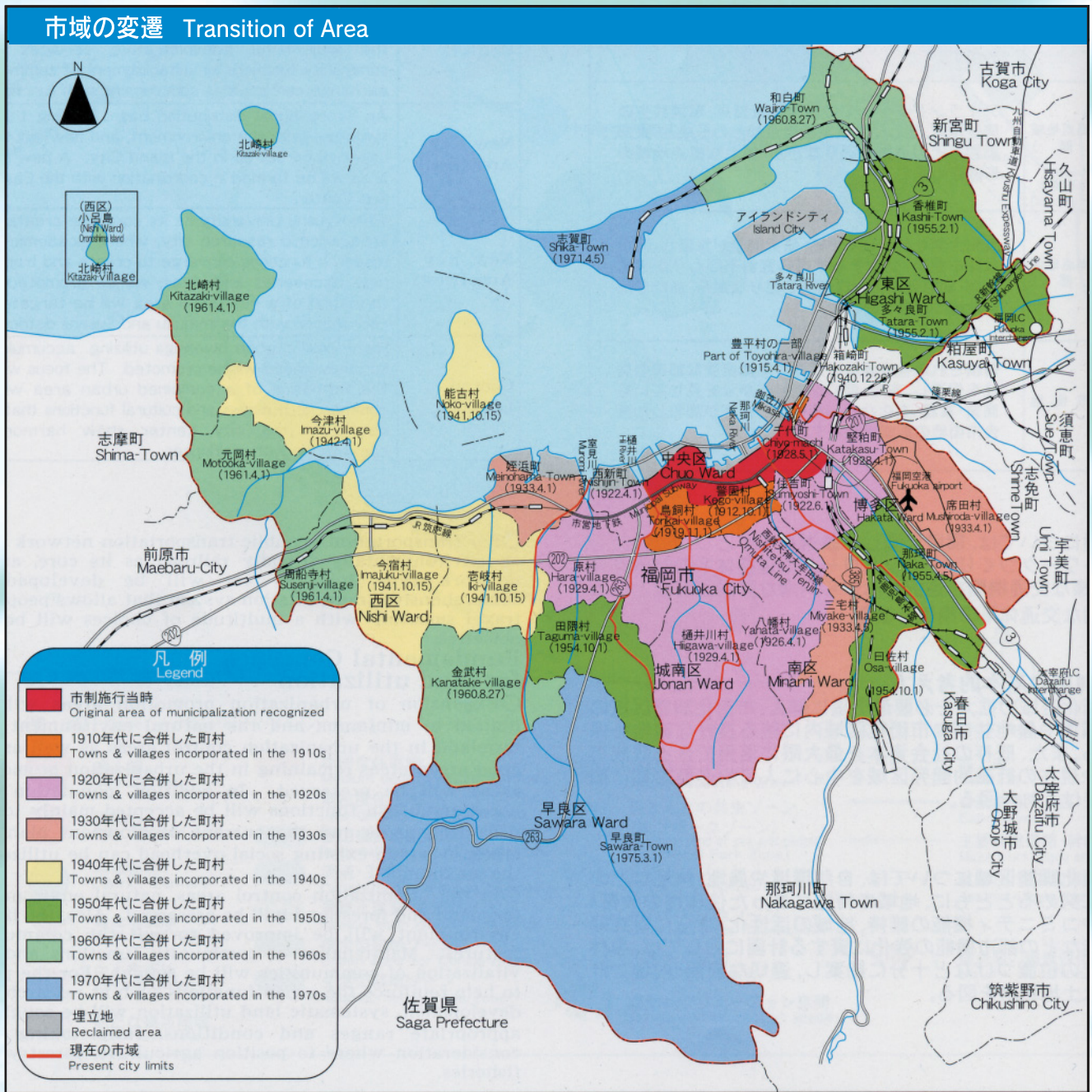
国籍	全市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
1 中国	9,696	2,880	2,339	1,469	1,437	448	681	442
2 韓国および朝鮮	6,391	2,153	1,632	788	655	291	527	345
3 フィリピン	791	153	218	156	105	41	65	53
4 米国	560	85	64	131	74	47	104	55
5 インドネシア	221	175	6	6	3	5	19	7
6 英国	218	26	26	65	29	22	28	22
7 ネパール	192	19	9	44	97	6	15	2
8 カナダ	183	30	24	54	24	10	30	11
9 インド	159	26	11	22	4	1	88	7
10 ベトナム	158	71	32	14	34	0	4	3
11 オーストラリア	151	36	14	32	18	12	23	16
12 バングラデシュ	143	104	20	6	3	1	5	4
13 タイ	112	25	22	25	9	6	8	17
14 ロシア	106	25	34	28	8	0	10	1
15 ブラジル	93	23	17	25	10	5	10	3
16 ペルー	91	47	26	8	6	0	2	2
17 ニュージーランド	88	39	2	13	7	17	6	4
18 スリランカ	79	46	3	9	12	3	5	1
19 フランス	78	21	4	24	8	6	11	4
20 エジプト	75	65	0	1	1	0	1	7
その他	807	336	85	126	82	41	70	67
合計	20,392	6,385	4,588	3,046	2,626	962	1,712	1,073

* 資料:福岡市総務企画局国際部国際課

本表は平成19年2月末現在における外国人登録数の多い20ヶ国を国籍別に掲げたもの。

(1) 国名は法務省外国人登録事務取り扱い要領による

市域の変遷図



* 資料:福岡市都市整備局都市計画部都市計画課

編入年月日	編入町村名
大正 元年 10月 1日	●筑紫郡 警固村
大正 4年 4月 1日	●筑紫郡 豊平村の一部
大正 8年 4月 1日	●早良郡 鳥飼村
大正 11年 4月 1日	●早良郡 西新町
大正 11年 4月 1日	●筑紫郡 住吉町
大正 15年 4月 1日	●筑紫郡 八幡村

編入年月日	編入町村名
昭和 3年 4月 1日	●筑紫郡 堅粕町
昭和 3年 5月 1日	●筑紫郡 千代町
昭和 4年 4月 1日	●早良郡 原村
昭和 4年 4月 1日	●早良郡 樋井川村
昭和 8年 4月 1日	●早良郡 姪浜町
昭和 8年 4月 1日	●筑紫郡 席田村
昭和 8年 4月 5日	●筑紫郡 三宅村
昭和 15年 12月 26日	●糟屋郡 箱崎町
昭和 16年 10月 15日	●早良郡 舌岐村
昭和 16年 10月 15日	●早良郡 能古村
昭和 16年 10月 15日	●糸島郡 今宿村
昭和 17年 4月 1日	●糸島郡 今津村

編入年月日	編入町村名
昭和 29年 10月 1日	●筑紫郡 日佐村
昭和 29年 10月 1日	●早良郡 田隈村
昭和 30年 2月 1日	●糟屋郡 多々良町
昭和 30年 2月 1日	●糟屋郡 香椎町
昭和 30年 4月 5日	●筑紫郡 那珂町
昭和 35年 8月 27日	●糟屋郡 和白町
昭和 35年 8月 27日	●早良郡 金武村
昭和 36年 4月 1日	●糸島郡 周船寺村
昭和 36年 4月 1日	●糸島郡 元岡村
昭和 36年 4月 1日	●糸島郡 北崎村
昭和 46年 4月 5日	●糟屋郡 志賀町
昭和 50年 3月 1日	●早良郡 早良町

面積の推移

1 市制施行当時

明治22年（1889年） 5.09km²



2 大正時代までに合併した町村

大正15年（1926年） 26.08km²

- 筑紫郡 警固村
- 筑紫郡 豊平村の一部
- 早良郡 鳥飼村
- 早良郡 西新町
- 筑紫郡 住吉町
- 筑紫郡 八幡村



3 昭和(戦前)までに合併した町村

昭和20年（1945年） 128.82km²

- | | |
|-----------|----------|
| ●筑紫郡 堅粕町 | ●糟屋郡 箱崎町 |
| ●筑紫郡 千代町 | ●早良郡 壱岐村 |
| ●早良郡 原村 | ●早良郡 能古村 |
| ●早良郡 樋井川村 | ●糸島郡 今宿町 |
| ●早良郡 姪浜町 | ●糸島郡 今津村 |
| ●筑紫郡 席田村 | |
| ●筑紫郡 三宅村 | |



4 昭和(戦後)に合併した町村

平成17年（2005年） 340.60km²

- | | |
|-----------|-----------|
| ●筑紫郡 日佐村 | ●早良郡 金武村 |
| ●早良郡 田隈村 | ●糸島郡 周船寺村 |
| ●糟屋郡 多々良町 | ●糸島郡 元岡村 |
| ●糟屋郡 香椎町 | ●糸島郡 北崎村 |
| ●筑紫郡 那珂町 | ●糟屋郡 志賀町 |
| ●糟屋郡 和白町 | ●早良郡 早良町 |



人口・世帯数・面積の推移表

パート1 (明治22年～昭和39年)

年	西暦年	人 口			増 減 数	世 帯 数	面 積 (km)
		総 数	男	女			
明治 22年	1889	50 847	26 035	24 812	...	9 440	5.09
大正 9年	1920	95 381	48 859	46 522	△ 7 437	18 040	15.93
10年	1921	105 267	52 453	52 814	9 886	16 977	15.93
11年	1922	138 207	68 657	69 550	32 940	24 046	20.68
12年	1923	142 519	70 862	71 657	4 312	24 800	20.68
13年	1924	145 425	72 328	73 097	2 906	25 262	20.68
14年	1925	146 005	73 647	72 358	580	28 029	20.68
昭和 元年	1926	156 288	77 802	78 486	10 283	27 917	26.08
2年	1927	158 594	78 937	79 657	2 306	28 303	26.08
3年	1928	201 065	100 255	100 810	42 471	36 758	34.39
4年	1929	213 751	106 505	107 246	12 686	38 923	66.75
5年	1930	228 289	114 818	113 471	14 538	43 496	66.75
6年	1931	233 201	116 155	117 046	4 912	41 882	66.75
7年	1932	242 817	121 129	121 688	9 616	43 673	90.05
8年	1933	276 458	138 085	138 373	33 641	49 721	90.05
9年	1934	285 057	142 459	142 598	8 599	51 010	90.05
10年	1935	291 158	144 474	146 684	6 101	55 184	90.05
11年	1936	302 068	150 722	151 346	10 910	54 038	90.05
12年	1937	311 216	155 076	156 140	9 148	55 747	90.05
13年	1938	316 781	156 235	160 546	5 565	56 619	90.05
14年	1939	322 615	159 048	163 567	5 834	57 665	90.05
15年	1940	306 763	149 598	157 165	△ 15 852	60 027	95.62
16年	1941	353 347	173 709	179 638	46 584	63 732	121.83
17年	1942	358 103	176 037	182 066	4 756	64 514	128.82
18年	1943	331 862	△ 26 241	69 939	128.82
19年	1944	324 499	149 191	175 308	△ 7 363	66 603	128.82
20年	1945	252 282	121 392	130 890	△ 72 217	66 548	128.82
21年	1946	288 794	139 767	149 027	36 512	60 824	128.82
22年	1947	328 548	161 170	167 378	39 754	73 823	128.82
23年	1948	348 052	170 849	177 203	19 504	77 592	128.82
24年	1949	377 345	29 293	83 026	128.82
25年	1950	392 649	191 838	200 811	15 304	87 700	130.41
26年	1951	408 285	198 032	210 253	15 636	88 278	130.41
27年	1952	417 543	202 494	215 049	9 258	89 442	130.41
28年	1953	426 022	207 192	218 830	8 479	94 851	130.41
29年	1954	454 477	221 297	233 180	28 455	102 781	145.90
30年	1955	544 312	265 836	278 476	89 835	117 583	180.41
31年	1956	566 131	278 459	287 672	21 819	131 477	180.41
32年	1957	590 790	291 391	299 399	24 659	139 953	180.23
33年	1958	615 996	303 952	312 044	25 206	148 562	180.23
34年	1959	631 714	312 435	319 279	15 718	155 995	180.23
35年	1960	647 122	317 043	330 079	15 408	158 399	207.46
36年	1961	680 316	332 526	347 790	33 194	172 577	239.85
37年	1962	699 703	341 602	358 101	19 387	181 480	239.85
38年	1963	715 550	348 900	366 650	15 847	188 905	239.85
39年	1964	732 061	356 269	375 792	16 511	195 183	239.85

福岡市のあゆみ

年	西暦年	事 象
明治22年	1889	●市政を施行 ●九州鉄道(今のJR鹿児島本線)、博多～千歳川が開通
明治30年	1897	●博多電灯(東中洲)が開業、電灯ともる
明治32年	1899	●福岡電話交換局、業務を開始
明治37年	1899	●博多湾鉄道、西戸崎～須恵が開通
明治39年	1906	●博多瓦斯、ガスの点火を開始
明治43年	1910	●福博電軌(市内電車)が営業を開始(大学前～西公園、呉服町～博多駅) ●北筑軌道、今川橋～加布里が開通
明治44年	1911	●九州帝国大学が発足
大正 4年	1915	●九州沖縄勸業共進会開催
大正 5年	1916	●第1回九州学生武道大会開催(金鷲旗柔道、玉竜旗剣道両大会の前身)
大正 9年	1920	●名島発電所が完成し、発電を開始
大正11年	1922	●市初の市営住宅(教員用)を鳥飼に建設
大正12年	1923	●曲淵ダム完成、上水道が通水
大正13年	1924	●九州鉄道(今の西鉄天神大牟田線)の福岡～久留米間が開通 ●博多湾鉄道(今の西鉄宮地岳線)の新博多～和白が開通
大正14年	1925	●玉屋呉服店、市内初のデパートとして開店
昭和 2年	1927	●東亜勸業博覧会を大濠で開く
昭和 4年	1929	●大濠公園が開園
昭和 5年	1930	●福岡放送局(JOAK)ラジオの第一声を放つ ●福岡飛行場(名島)が開場
昭和11年	1936	●博多築港記念大博覧会を須崎裏で開く ●雁の巣国際飛行場が完成
昭和14年	1939	●九州鉄道(今の西鉄天神大牟田線)の福岡～大牟田間が全通
昭和16年	1941	●日本銀行福岡支店が開店
昭和20年	1945	●陸軍席田飛行場(今の福岡空港)の滑走路できる ●福岡大空襲 ●太平洋戦争終る
昭和21年	1946	●戦後初の本格的商店街、新天町が開店
昭和23年	1948	●第3回国民体育大会を開催
昭和26年	1951	●民間航空、板付福岡空港で再開
昭和28年	1953	●市立動物園(南公園)が開園
昭和30年	1955	●人口50万人突破
昭和31年	1956	●NHK福岡放送局、テレビ放送を開始
昭和38年	1963	●現・博多駅、移転して落成

人口・世帯数・面積の推移表

パート2(昭和40年～平成17年)

年	西暦年	人口			増減数	世帯数	面積 (km ²)
		総数	男	女			
昭和40年	1965	749 808	364 835	384 973	17 747	205 673	241.54
41年	1966	768 364	374 396	393 968	18 556	220 361	241.63
42年	1967	788 909	384 914	403 995	20 545	229 055	241.71
43年	1968	811 484	396 381	415 103	22 575	239 659	241.99
44年	1969	833 348	407 309	426 039	21 864	249 828	242.18
45年	1970	853 270	417 877	435 393	19 922	260 376	242.61
46年	1971	884 693	433 675	451 018	31 423	277 877	254.56
47年	1972	912 059	447 975	464 084	27 366	291 310	255.88
48年	1973	940 106	462 658	477 448	28 047	301 990	255.91
49年	1974	966 364	475 693	490 671	26 258	318 310	257.50
50年	1975	1 002 201	493 362	508 839	35 837	333 928	334.78
51年	1976	1 020 880	502 799	518 081	18 679	344 049	335.23
52年	1977	1 039 404	511 787	527 617	18 524	352 359	335.49
53年	1978	1 055 131	519 894	535 237	15 727	360 326	335.53
54年	1979	1 070 824	527 938	542 886	15 693	368 662	335.58
55年	1980	1 088 588	536 765	551 823	17 764	397 013	335.61
56年	1981	1 103 158	543 204	559 954	14 570	404 069	335.61
57年	1982	1 118 834	550 376	568 458	15 676	412 170	335.63
58年	1983	1 134 506	557 611	576 895	15 672	420 321	335.64
59年	1984	1 148 176	563 024	585 152	13 670	427 010	335.91
60年	1985	1 160 440	568 166	592 274	12 264	433 348	336.82
61年	1986	1 177 133	575 978	601 155	16 693	444 059	337.12
62年	1987	1 193 403	583 286	610 117	16 270	454 548	338.18
63年	1988	1 208 006	590 303	617 703	14 603	465 116	336.39
平成 元年	1989	1 223 965	597 778	626 187	15 959	477 811	336.39
2年	1990	1 237 062	603 548	633 514	13 097	490 915	336.40
3年	1991	1 249 948	609 128	640 820	12 886	503 951	336.50
4年	1992	1 262 915	615 193	647 722	12 967	517 124	336.50
5年	1993	1 270 513	618 180	652 333	7 598	526 262	336.81
6年	1994	1 277 681	621 129	656 552	7 168	534 882	336.82
7年	1995	1 284 795	624 622	660 173	7 114	544 145	337.59
8年	1996	1 296 308	630 005	666 303	11 513	555 687	337.59
9年	1997	1 309 330	635 325	674 005	13 022	567 896	337.84
10年	1998	1 321 914	640 553	681 361	12 584	579 675	338.27
11年	1999	1 331 406	644 123	687 283	9 492	589 627	338.29
12年	2000	1 341 470	647 816	693 654	10 064	599 989	339.38
13年	2001	1 354 005	653 554	700 451	12 535	609 889	340.00
14年	2002	1 367 852	660 307	707 545	13 847	620 324	340.03
15年	2003	1 379 564	666 263	713 301	11 712	630 158	340.60
16年	2004	1 389 953	671 265	718 688	10 389	639 144	340.60
17年	2005	1 401 279	673 097	728 182	11 326	649 138	340.60

* 資料：総務企画局企画調整部統計調査課、総務省統計局

本推移表パート1、パート2は人口の推移を年別に掲げたものである。

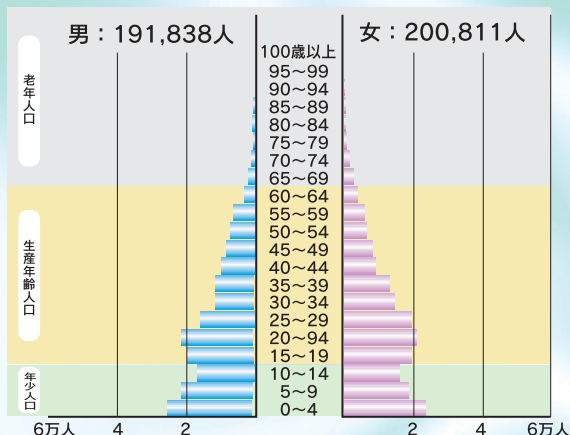
- (1) 明治22年は同年末現在。
- (2) 国勢調査の年は総務省統計局の国勢調査報告による10月1日現在。
- (3) 大正10年から昭和18年までは福岡県統計年鑑による各年末現在。ただし、昭和18年は4月15日現在。
- (4) 昭和19年から21年までは人口調査集計結果の総務省統計局公表（昭和52年3月）による。なお調査日は昭和19年が2月22日、20年が11月1日、21年が4月26日。
- (5) 昭和23、24、26年は福岡市勢要覧による。
- (6) 昭和27年から34年までは各年9月30日現在の住民登録人口及び外国人登録人口。
- (7) 昭和36年以降は各年10月1日現在の推計人口。平成13年から16年は、平成17年国勢調査速報値に基づき遡及修正している。
- (8) 平成17年の人口、世帯数等は国勢調査の確定値。

福岡市のあゆみ

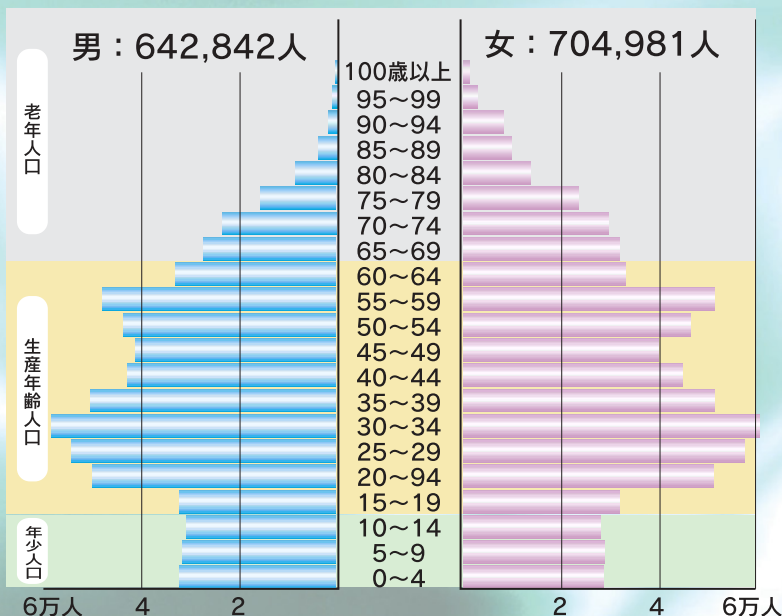
年	西暦年	事 象
昭和41年	1966	●中部下水処理場、汚水処理を開始
昭和47年	1972	●政令指定都市となり、5区が誕生
昭和50年	1975	●山陽新幹線が開通、東京まで6時間56分に ●人口100万人突破
昭和51年	1976	●天神地下街が完成
昭和53年	1978	●渇水のため給水制限を開始(延287日)
昭和54年	1979	●路面電車全線廃止 ●福岡市美術館が開館
昭和55年	1980	●福岡市植物園が開園 ●福岡高速道路(香椎～東浜)が開通
昭和56年	1981	●地下鉄1号線が室見～天神で部分開業
昭和57年	1982	●旧西区が城南・早良・西の3区に分かれて7区制に
昭和58年	1983	●地下鉄1号線が姪浜～博多で全線開業
昭和60年	1985	●九州で初の駐輪条例
昭和61年	1986	●地下鉄2号線が中洲川端～貝塚で全線開業
昭和62年	1987	●平和台野球場で鴻臚館の遺構を発見
昭和63年	1988	●女性センター「アミカス」が開館
平成 元年	1989	●アジア太平洋博覧会が開幕 ●博多の森陸上競技場が完成
平成 2年	1990	●第45回国民体育大会・とびうめ国体を開催 ●福岡市博物館が開館
平成 3年	1991	●アジアフォーカス・福岡映画祭1991を開催
平成 4年	1992	●平和台野球場でのプロ野球公式戦が幕を閉じる
平成 5年	1993	●地下鉄1号線が福岡空港まで延伸開業 ●日本初の開閉式ドーム「福岡ドーム」誕生
平成 6年	1994	●香椎パークポート一部供用開始 ●第1回アジア太平洋都市サミットを開催
平成 7年	1995	●ユニバーシアード福岡大会開催
平成 8年	1996	●福岡市総合図書館が開館
平成 9年	1997	●アジア開発銀行(ADB)福岡総会開催
平成10年	1998	●福祉のまちづくり条例施行
平成11年	1999	●福岡高速道路が太宰府ICへ接続 ●福岡アジア美術館開館
平成13年	2001	●福岡高速道路が西九州自動車道へ接続
平成14年	2002	●ロボカップ2002福岡・釜山を開催
平成15年	2003	●アイランドシティコンテナターミナル供用開始
平成16年	2004	●福岡国際会議場開館
平成17年	2005	●地下鉄七隈線(橋本～天神南)が開通 ●福岡県西方沖地震発生

人口ピラミッドの推移

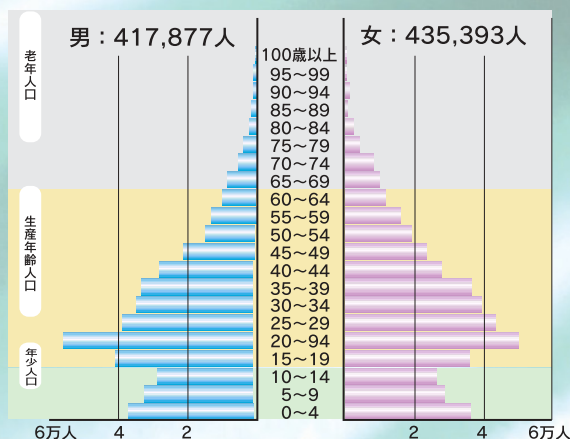
昭和25年 総数：392,649人



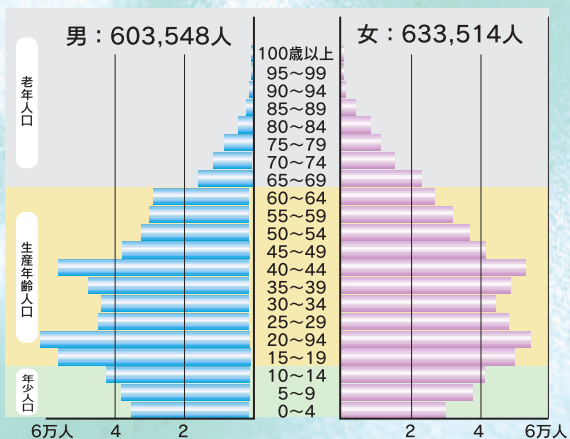
平成17年 総数：1,347,823人



昭和45年 総数：853,270人



平成2年 総数：1,237,062人

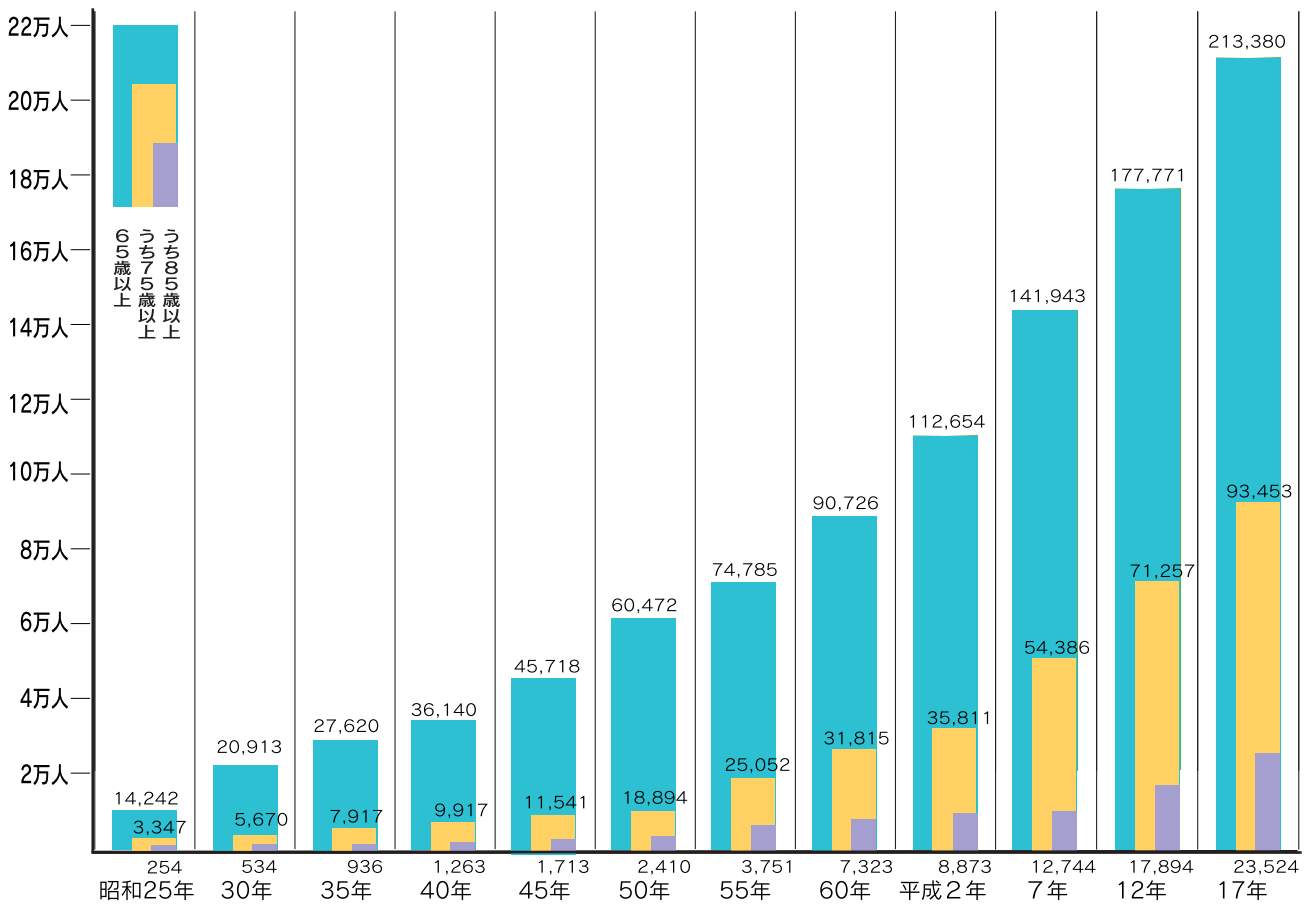


平成17年

年齢	総数	男	女
総数	1,347,823	642,842	704,981
0~4歳	63,504	32,680	30,824
5~9	63,374	32,365	31,009
10~14	62,520	31,938	30,582
15~19	69,597	35,316	34,281
20~24	101,784	50,016	51,768
25~29	114,802	55,487	59,315
30~34	121,500	59,618	61,882
35~39	102,463	50,148	52,315
40~44	89,579	43,697	45,882
45~49	84,040	41,083	42,957
50~54	92,008	44,772	47,236
55~59	100,742	48,618	52,124
60~64	74,253	34,315	39,938
65~69	62,914	27,927	34,987
70~74	54,680	23,659	31,021
75~79	40,956	16,318	24,638
80~84	26,735	9,108	17,627
85~89	13,875	3,924	9,951
90~94	6,483	1,498	4,985
95~99	1,764	321	1,443
100歳以上	250	34	216

* 資料：福岡市市民局総務部政課
9月30日現在の住民基本台帳による結果。

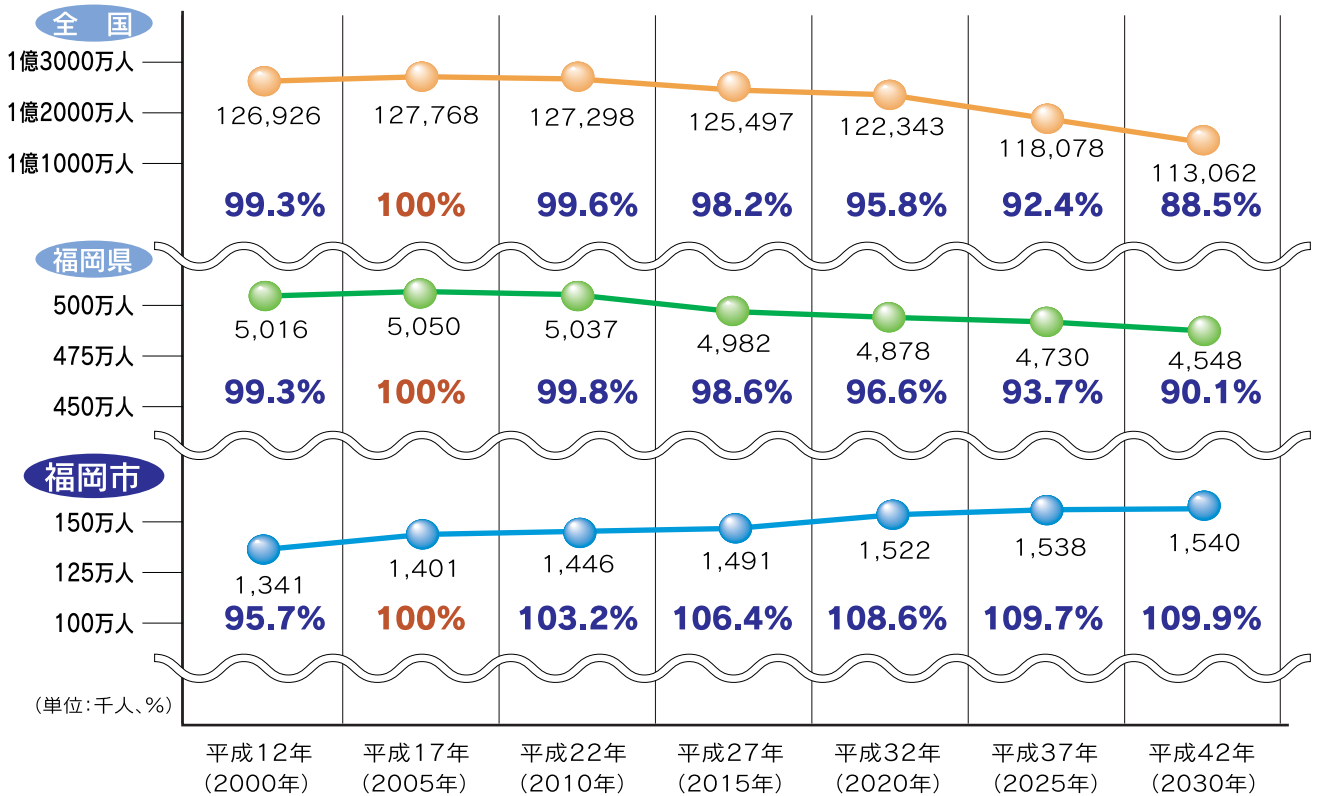
高齢者人口の推移



*資料：総務省統計局、福岡市総務企画局企画調整部統計課

人口将来予測データ

(単位：千人)

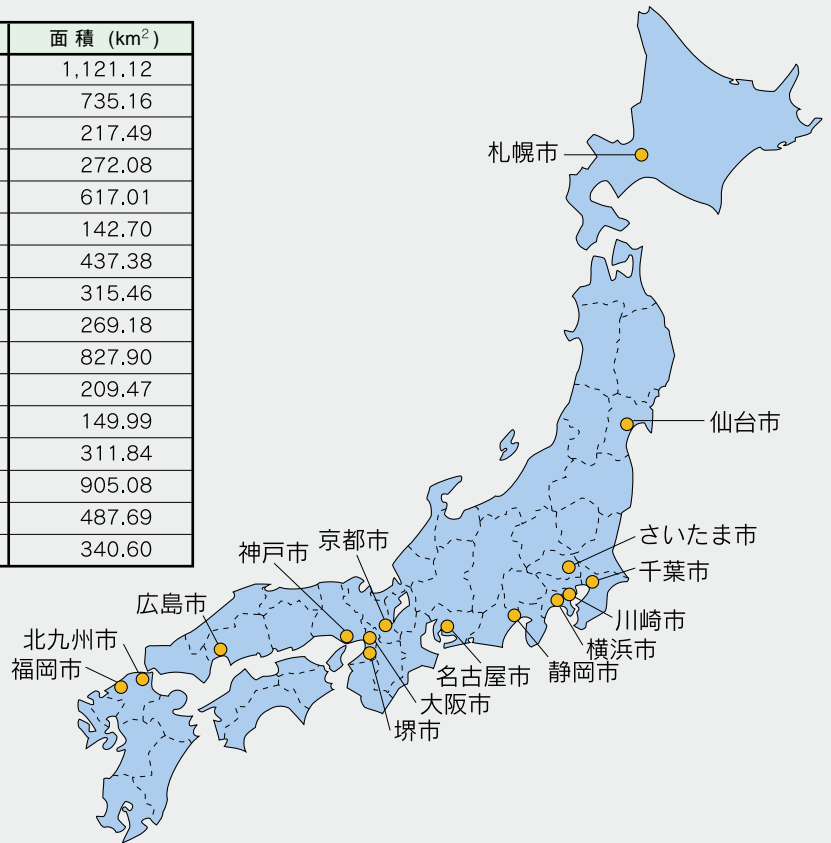


*資料『人口減少時代の到来と地域経済』（2007財団法人九州経済調査協会）より作成

大都市の人口・世帯数・面積

都市名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
札幌市	1,880,863	837,367	1,121.12
仙台市	1,025,098	439,579	735.16
さいたま市	1,176,314	460,457	217.49
千葉市	924,319	373,766	272.08
東京特別区部	8,489,653	4,146,481	617.01
川崎市	1,327,011	595,513	142.70
横浜市	3,579,628	1,478,104	437.38
静岡市	700,886	264,073	315.46
名古屋市	2,215,062	955,851	269.18
京都市	1,474,811	653,860	827.90
大阪市	2,628,811	1,245,012	209.47
堺市	830,966	322,936	149.99
神戸市	1,525,393	643,351	311.84
広島市	1,154,391	487,416	905.08
北九州市	993,525	413,510	487.69
福岡市	1,401,279	649,138	340.60

* 資料：総務省統計局（平成17年国勢調査確定数）
 (注) 面積は国土地理院の平成18年10月1日現在



姉妹都市・友好都市の人口と面積

区分	都市名	所在地(国名)	締結年	人口	面積
姉妹都市	オークランド市	米国	昭和37(1962)年	約40万人	146km ²
	ボルドー市	フランス	昭和57(1982)年	約23万人	45km ²
	オークランド市	ニュージーランド	昭和61(1986)年	約40万人	632km ²
	イポー市	マレーシア	平成元(1989)年	約68万人	643km ²
	アトランタ市	米国	平成17(2005)年	約42万人	342km ²
	釜山広域市	韓国	平成19(2007)年	約364万人	763km ²
友好都市	広州市	中国	昭和54(1979)年	約725万人	7,434km ²

* 資料『福岡市政要覧』（福岡市市長室広報課）



発行 平成19年 3月
 財団法人 福岡アジア都市研究所
 〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目10-1
 TEL.092-733-5686 FAX.092-733-5680